

FASB コメント募集「識別可能な無形資産及びのれんの事後の会計処理」に関する意見発信

ASBJ ディレクター いたばし あつし
板橋 淳志

のれんの事後の会計処理は、我が国の市場関係者から特に強い関心が寄せられる会計上の論点の1つであり、企業会計基準委員会（ASBJ）では、本論点に関する国際的な議論に対して、積極的に意見発信を行ってきている。

今般、米国財務会計基準審議会（FASB）は、自身のプロジェクトの一環として、コメント募集「識別可能な無形資産及びのれんの事後の会計処理」を公表し、関係者から意見を募っている。また、今後、国際会計基準審議会（IASB）からもディスカッション・ペーパーの公表が予定されており、本論点に関する議論がより活発化することが期待されているところである。

本企画では、FASB コメント募集の概要と ASBJ のコメント・レターの内容をご紹介します。

1. FASB コメント募集「識別可能な無形資産及びのれんの事後の会計処理」の解説 15
2. FASB コメント募集「識別可能な無形資産及びのれんの事後の会計処理」に対するコメント・レター 25